

NHK邦楽技能者育成会同窓会会報 第4号

平成28年11月29日(火)にNHK邦楽技能者育成会同窓会臨時総会を開催いたします。

本会報と一緒に、臨時総会のご案内も同封させて頂いておりますので、会員の皆様におかれましてはふるってのご出席をお願い申し上げます。

NHK邦楽技能者育成会同窓会演奏会「現代邦楽 考」

2016年3月6日(日) 渋谷区総合文化センター大和田 さくらホール



出演者数72名、来場者数325名。音楽監督・指揮の板倉康明氏のもと、以下の5曲を演奏致しました。

合奏曲「壽」…杵屋正邦作曲／「三つのパラフレーズ」…沢井忠夫作曲／尺八二重奏曲「竹」…山本邦山／「四面の箏のための音楽」…間宮芳生作曲／「白雲青靄」改定初演…秋岸寛久作曲

最後の曲の前に、トーク「NHK邦楽技能者育成会の歩み」と題し、第1期卒業生の中島靖子さんに聞き手を織田麻有佐さんとしてお話をうかがいました。

プログラムには、特別会員で公益財団法人日本伝統文化振興財団会長の藤本草氏から「同窓会へのメッセージ」という寄稿を頂きました。

今回も、NHKのご協力を得られ、NHK-FM「邦楽百番」にて放送されました。

第4回現代邦楽「考」実行委員会は、設楽瞬山(38)を実行委員長とし友淵のりえ(15) 森田柊山(19) 釣谷真弓(27) 横山裕子(29) 高須真穂(32) 合田真貴子(34) 大田由美子(34) 原郷界山(44) 小林千恵子(46) 今英里(50) 松本宏平(53) 福本礼美(54) 秋岸寛久(特別会員)で組織いたしました。本演奏会を成功に導けたのは、出演者の皆様をはじめ、スタッフとして駆けつけてくださった方々、NHK、後援を頂きました各団体、特別理事の方々、その他関係する方々のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

日本音楽の光彩Ⅱ

2016年7月9日(土) 国立劇場 小劇場



国立劇場からの依頼を受け、同窓会の30期以降のメンバーを中心に26名で出演いたしました。1960年代～90年代にかけて初演された作品を特集した、現代邦楽の軌跡をたどる公演で、藤井凡大作曲「絲竹交響第二番」に登板、板倉康明氏の指揮によりまして出演者一同、心を合わせて演奏いたしました。また、団体として145枚のチケット販売に協力することが出来、国立劇場からは演奏のみならず好評価を頂いております。

当会としては初めて外部からの依頼を受けての演奏となりましたが、成功裏に終えることが出来ました。会員の皆様のご協力とご支援に感謝申し上げます。

■新役員について

平成28年3月27日公示、4月10日立候補締切のNHK邦楽技能者育成会同窓会役員選挙が行われました。理事・監事ともに立候補者数が役員定数範囲内なので、それぞれの立候補者は無投票当選となり、新理事、新監事は5月24日の総会の議決で正式に選任されました。* ()内は卒業期

【理事】

後藤すみ子(2)・杵屋静子(5)・山戸朋盟(14)・三橋貴風(17)・釣谷真弓(27)・富緒清律(33)・福田栄香(33)・石川利光(37)・設楽瞬山(38)・原郷界山(44)・小林千恵子(46)・今英里(50)・松本宏平(53)・福本礼美(54)・井上美和(55)

【特別会員理事】

秋岸寛久・板倉康明・菅野由弘・高橋明邦・羽田野歌子(50音順)

【監事】

古屋輝夫(16)・森田柊山(19)

■新役員紹介(卒業期順)



後藤すみ子(2期:継続)

私は育成会2期生として最古参の者で、1955年より音楽活動を始め、今日迄演奏活動を続けております。丁度NHK邦楽技能者育成会の発足と同じ時期になります。活動を始めた当初の時代は、明治期に何が何でも西洋文明を取り入れる為に、日本人でありながら日本文化を投げ捨て、その結果日本音楽はとても低い位置に甘んじなければならない時代でした。若い考えではありましたが「このままでは日本音楽は博物館に入れられて、過去の音楽となってしまう」と考え、必死になって新しい運動に取り組みました。そして現代邦楽と云うジャンルが出来、1970年頃、現代邦楽の最盛期を迎え、国内のみでなく世界に向かって活発な活動をした時は誇らしい思いで一杯でした。しかし乍らあの時の隆盛はどこに行ってしまったのでしょうか、このままでは60年前の時代とあまり変わらないのではなかろうか。日本の大切な伝統音楽を生きた音楽として次の時代に繋げる---それが私達の重要な役目ではないのでしょうか、皆さん自覚を持って頑張ってください。



杵屋静子(5期:継続)

古典長唄の三味線をしっかり身につけた上で現代邦楽も等しく勉強させて頂けること誠に幸せに存じます。今後とも宜しくお願い申し上げます。



山戸朋盟(14期:継続)

この四年余り、理事として働かせて頂き、規約の見直しと整備、役員の選挙制度の見直しと改革、選挙管理委員会の発足の手伝い、評議員会との連絡役などを受け持ってきました。今、育成会同窓会の今後のビジョンの模索・検討・作成などに取り組むことになり、ここで理事を辞めることは無責任であると感じています。もう一期働かせて頂き、その後、若い力に引き継いで頂きたいと希望しています。



三橋貴風(16期:継続)

結成から数年を経たこの組織もいよいよここからが正念場と思います。全ての古典が生まれた当時は「現代邦楽」であり、それが後々「古典」と定着してきたように、私たちの知る「現代邦楽」を未来の古典として伝承させていけるような組織として、この会も未来を見据えて変革していかなければならない時が少しずつやって来ている感があります。会員の多くの方々の積極的なご意見が今必要なのだと思っております。



釣谷真弓(27期:新任)

NHK邦楽技能者育成会では、技術、知識はもちろんのことながら、熱い1年をともに過ごした一生の楽友、卒業後の仕事、人生にまで糧となるものを得ることが出来た。藤井先生ご逝去の季の講義を代講させて頂き、試験や同窓会演奏会のお手伝いも積極的に携わってきた。現在に邦楽界を代表するメンバーが属するこの会が、さらにその力を発揮できるように、理事という役職では、これからの当組織の方向性を話し合い、できるだけ多くの卒業生に参加してもらい邦楽界に少しでも貢献していけたらと思う。



石川利光(37期:継続)

地方会員と若手のサポートが出来ればと思います。



設楽瞬山(38期:継続)

前期に続き、今期も微力ながら会員の皆様のお手伝いが出来ればと思っております。



原郷界山(44期:継続)

育成会同窓会のお役に立てるよう尽力したいと思います。宜しくお願いいたします。



富緒清律(33期:新任)

評議員会にて推薦され、理事に立候補することになりました。力不足かと思いますが、自分と母との二代にわたってお世話になった育成会ですので、何かお役に立てるよう、努めていこうと思います。



福田栄香(33期:継続)

NHK邦楽技能者育成会という貴重な出会いを活かして発足された本同窓会内の更なる交流を深め演奏会や講習会を企画開催すると同時に、その活動を積極的に発信できるような体制を整え、一般社会に対しても自国文化への関心を促し、日本伝統音楽(邦楽)の発展を訴えてまいりたいと存じます。



小林千恵子(46期:新任)

育成会卒業生の会の存続と発展、邦楽の伝承に微力ながら貢献できるよう努めたいと思います。



今英里(50期:新任)

事務局としてお手伝いするようになり、その中でもう少し同窓会の運営の可能性を広げられるのではないかと思います。理事会・評議員会に出席させて頂くこともあり、会員の橋渡し役として意見の風通しをよくし、同窓会内の意見交換が活発に出来るように努めさせて頂ければと考えています。



松本宏平(53期:継続)

本会が卒業生に、また世の中に育成会にしか出来ない価値を提供するため、飛躍、発展の段階を迎えていると実感しております。そのために少しでも力になれたらと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



福本礼美(54期:継続)

これまで3回の演奏会の開催に携わり、多くの会員の皆様の声を拝聴することが出来ました。同窓会は、今一度立ち止まり今後の可能性について考える時期に来ていると思います。発起人の先輩の皆様が大変な思いで立ち上げてくださった同窓会を、次世代にも引き継いでいけるような会にしていけたらと思います。微力ですが精一杯努めさせて頂きたいと存じます。



井上美和(55期:新任)

このたび、候補者推薦委員会からの推薦により立候補をさせて頂き運びとなりました。何卒宜しくお願い申し上げます。

【特別会員理事(五十音順)】



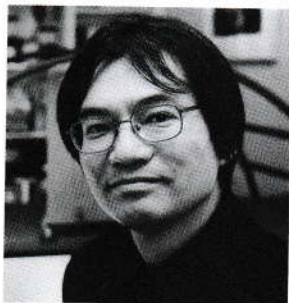
秋岸寛久(継続)

なかなか関わる事ができませんでしたが、少しでもお役に立てることがあれば、お手伝いさせて頂きます。



板倉康明(新任)

洋楽での経験を活かし、会の更なる発展にお役に立てればと思っております。



菅野由弘(継続)

元講師、という立場ですので、直接的なお役には立てないかと思いますが、外部役員として、外側に位置しつつ、見守る役と考えています。



高橋明邦(継続)

とにかく、もう一期、続けます
未来の全邦楽ジャンルのために
少しでも良い環境づくりに



羽田野歌子(新任)

NHK在職中は、毎年の卒業演奏会の演出を担当しました。50年記念演奏会は、日本音楽の祭典として、NHKホールで開催し、満員のお客様に演出している立場としても感動を頂きました。55期最後の演奏会では、卒業生の皆様の熱い思いを実感しました。育成会の意義をますます重要に感じています。少しでもお役に立てるなら嬉しいと思っております。

【監事(卒業期順)】



古屋輝夫(16期: 新任)

若く新しい力の芽吹きを感じます。ささやかな力にしかありませんが応援にまわります。



森田柊山(19期: 継続)

卒業生の皆様の育成会への「熱い想い」に支えられて、同窓会設立準備委員から設立理事まで同窓会設立の一端を担わせていただきました。設立後は監事として務めさせて頂いておりますが、今期も微力ながらお役に立てればと思っております。

■総会報告

2016年5月24日(火) 14時よりTKP東京駅八重洲カンファレンスセンターにおいてNHK邦楽技能者育成会第5回通常総会が開催されました。議案審議の概要を以下に示します。審議案件は全て承認されました。

なお、紙幅の都合上、質疑応答の全てが会報に掲載できませんので、詳細を御覧になりたい方はホームページの議事録をご参照下さい。

◆定足数報告／理事長挨拶・杵屋静子理事長／議長選出・山口賢治

《第1号議案事業報告》

◆古屋輝夫(16)より理事会の報告

◆設楽瞬山(38)より第4回演奏会の総括

平成28年3月6日(日) 16:00開演 渋谷区文化総合センター大和田さくらホール
3/26・27、4/2・3 NHK-FM「邦楽百番」で放送

[問題点]

- ・出演者の減少(10/1締切時点で希望者40名。最終的には72名)
- ・集客(ホール定員726席に対して326名)
- ・選曲に課題
- ・収入がNHK放送料頼み(過去と同じで参加料が1万円のままで良いのか)

[改善点]

- ・練習室を演奏会前2日間押さえることでパート練習が可能になった
- ・NHK放送用仕込み(3時間必要雄)の為、前日の夜間からホールを借りたので、前日に楽器搬入、チラシのはさみ込みが出来た
- ・ロビー開場としたためスムーズに誘導出来た
- ・集合での実行委員の会議がなかなかできない為、打ち合わせをメールでやり取りしたため、データとして残し、事務局に保存し今後に生かす

《第2号議案会計報告・監査報告》

◆原郷界山(44)より会計報告

演奏会収支・・・NHK放送料と出演者の追加チケット協力で¥13,167の黒字
27年度収支決算・・・支出の部で会議の会場費、紙ベースの支出を抑えられた

◆森田柊山(19)より収支決算報告書が適正であると確認され、承認可決

《第3号議案事業計画書》

◆三橋貴風(17)より28年度事業計画の報告

(1)7/9(土)国立劇場主催「日本音楽の光彩Ⅱ」に出演

国立劇場石橋様より、藤井凡大作品、指揮：板倉康明で依頼

現代邦楽を次に伝えるため、若い世代に国立劇場の舞台に立つチャンスを与える意味で、今まで「考」に出演された方で30期以降の卒業生を募集

理事会(3/16)で「国立劇場対策委員会」を立ち上げメンバー選出他、対応

経費は全て会から出し、出演者には交通費程度支給

リハーサル・楽器運搬など国立劇場で全面的に負担いただいているので、チケット購入・集客で協力したい(チケット協力をメールで会員に依頼、代金は¥4100だが、会員には1割引の¥3690)

- ・出演者にはチケット2枚

(2) 11/29(火)臨時総会を開催

今期は演奏会を開催しない(開催には1年半前より準備は必要)。行事があるとそれに気をとらわれがちなので、同窓会の今後について考える1年にした方がよい。

《第4号議案予算案》

◆原郷界山より28年度予算案報告

同窓会の方向性を決める年となるので、会議費、事務作業費を増やした。

羽田野歌子(特別会員理事)

・・・今期は演奏会を行わないということだが、NHK側からすれば一年途切れて穴埋めに別の番組を入れると、次の年度に予算を取ることは難しい。育成会を知っている局員がいなくなる現状で、この会をどう発展させ、どうNHKとかかわっていくか再考の必要がある。

→近日中に理事会を開催して、検討する。

《第5号議案役員選任》

◆選挙管理委員長秦瓢山(22)より報告

釣谷真弓(27) 富緒清律(33) 小林千恵子(46) 今英里(50) 井上美和(55)

の5名を評議員の立候補者推進委員会より選任。

《第6号議案評議員選任》

◆設楽瞬山(38)より報告

第2期評議員は9/14・3/25に評議員会を開催。理事会と評議員との関係を明確にする・・・それぞれ閉鎖的にせず、議事録を共有する。互いにけん制し、良い会にしていける。現在評議員は52名。

第3期メンバーは会報発行までに決定する。

《第7号議案同窓会の今後について》

田辺洌山(25) 山戸朋盟(14) 後藤すみ子(2) 松本宏平(53)の各案を発表。

11/29の臨時総会に向けて個人、同期、同門などいろいろな形で意見アイデアを出してもらいたい。

《第8号議案その他》

羽田野氏の意見を受けて演奏会開催について再考してほしいとの意見が出される。

→臨時理事会を招集する。

■評議員会報告

第3期評議員は、下記の方々に組織されました。

評議員への立候補または推薦がありましたら、随時受け付けますので評議員担当理事の設楽瞬山が事務局までお知らせください。

杵屋勝真代(6期) 五味静子(7期) 小林富美代(8期) 久保暉子(9期) 渡辺玻璃瑠美(11期)
伊藤厚勢(12期) 田辺園由香(13期) 富成清女(15期) 本莊洋子(16期) 春原香代子(17期)
大澤善子(18期) 石垣清美(21期) 曾我哲山(25期) 石川憲弘(26期) 田辺頌山(27期)
高橋はるな(28期) 横山裕子(29期) 山田明美(30期) 鈴木佑未子(31期) 山口連山(32期)
合田真貴子(34期) 大田由美子(35期) 中川裕美(37期) 岡本千邦子(38期) 山口賢治(39期)
金田智子(40期) 黒川真理(42期) 高橋裕恵(43期) 清水一恵(44期) 川俣夜山(45期)
中畝詩歩(48期) 斎藤彩子(49期) 熊本文(50期) 岩本みち子(51期) 佐々井麻矢(52期)
西山麻弥子(53期) 馬場千年(54期) 寺井結子(55期) 39名

■理事会の体制変更について

できる限り多くの卒業生に、本会に魅力を感じて積極的に参加して欲しいということは意見の一致することかと思いますが、現在の理事会体制下ではなかなか会員の皆様よりご助言ご提案いただいている事業を具体的に進めることが難しく、年一度の演奏会がやっとという状況です。

しかし、現在同窓会に参加していない卒業生、魅力を感じられず積極的に会の活動に関わっていない会員諸兄に、もっと魅力的な事業を理事会として提供していきたいと考え、この度理事体制の改変を理事会より提案させて頂く運びとなりました。

去る2016年5月の通常総会において本提案を行い、理事会で新体制下での運営を試行中ですが、ここに再度、総会にご参会されなかった方々にも提案要旨をご紹介、ご説明いたします。本提案はきたる2016年11月の臨時総会において正式に審議、議決を行います。なお、本提案に伴う規約の改正はございません。

■提案の要旨

従来

理事全員で事業審議を行っており、理事が揃わなければ議論が進まず、事業が停滞しがち。

従来

年一度の演奏会(「現代邦楽考」)の他には目立った事業を行うことができていない。

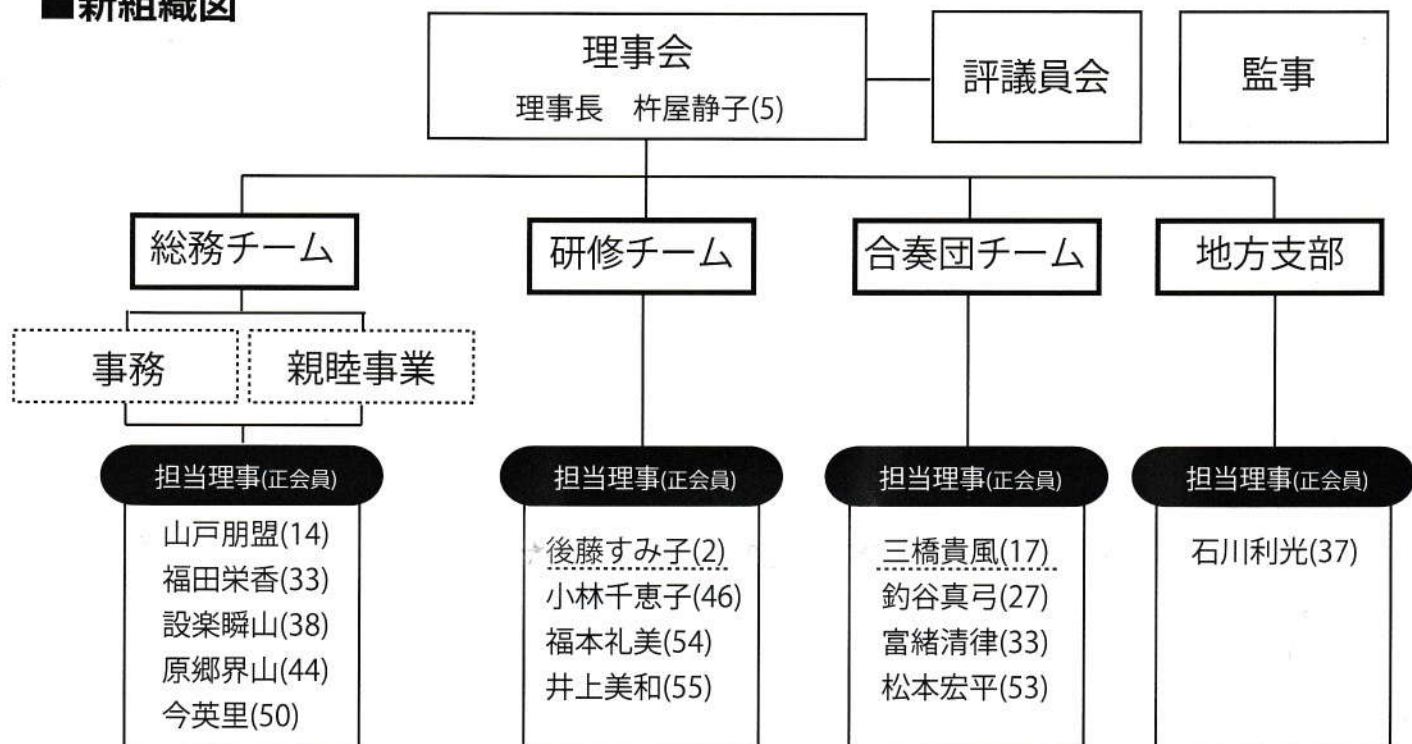
今後

理事会を事業チームに分割。チーム毎に理事を配置し、チーム内で事業を審議、実行する。迅速で具体的な事業企画が可能になる。

今後

理事会をチーム分割することで多角的な事業を具体的に実行できる。現代邦楽考演奏会以外の親睦中心の企画や、プロ活動を行う会員が積極的に参加できる企画を推進していく。

■新組織図



※敬称略

※ は副理事長(兼任)

■各事業チームの業務内容と今後の企画

総務チーム

1. 概要および目的

従来の事務局の仕事を継承し、会全体の事務を統括する事務的な仕事の継続

名簿管理・総会開催の準備・会計・規約改正・評議員会招集

地方との連携

2. 事業計画

① 事務部門：総会開催の通知や会報の編集・各種会員への郵送・演奏活動の後援など

② 会計部門：会費の未納に対する対応（臨時総会議案）・演奏活動の助成

③ 親睦事業部門：会報の発行・懇親会開催・ホームページで会員同士の意見交換・情報交換

*** ホームページは定期的に更新致します。会員のご意見、演奏会情報等を掲載可能、お気軽にお問い合わせください。**

3. 今年度の試行

① 従来の同窓会事務業務の円滑な進行

② 親睦会の実施

新しい試みとして、懇親会の企画・実施。これは同窓会でありながら今まで一度も行われたことのない、音楽とは切り離された純粹の親睦と交流の場として、ハイキングや食事会、飲み会のようなものを開催しようというもの。

*** 第1回は11月4日(金)に企画**

*** 案内は会報に同封、定期的に行えるよう皆様の積極的な参加をお待ちしております。**

③ 助成金事業の実施

助成は会員の演奏会の開催などに金銭的な援助をするもの（臨時総会議案）

研修チーム

1. 概要および目的

同窓会を通じて演奏技術の向上をはかりたいという会員への機会を提供する。

現代邦楽についての理解を深めたいという会員への機会を提供する。

埋もれている現代邦楽の作品を多くの人に知ってもらう機会をつくる。

会員以外の参加も可能とし、新規会員獲得の可能性に繋げる。

2. 事業計画

① 事業年度毎に何曲かを決め、実技、合奏、作曲者、楽曲などについての講習会（数回）を実施する。

対象者は、会員および会員の紹介がある者（会費に差を設ける）

② 短期集中型の講習会の実施

子供、学生等を対象として、長期休暇期間に講習会を実施する。

対象者は、会員の紹介がある個人および団体等

演奏会（下記③）への出演を可能とする。

- ③ 講習会の成果の発表の場として演奏会を行う。
現代邦楽「響」演奏会に続く小規模な演奏会の実施
演奏会本番前に視聴会を実施し研鑽の機会とする。
会員外の講習会参加者も出演可能とする。

3.今年度の試行

- ① 2曲の講習会の実施予定

2016年10月10日および11月20日

二種の三絃のためのソナタ[作曲:藤井凡大]／和楽器のための三重奏曲[作曲:小山清茂]

- ② 現代邦楽「響」演奏会の実施

2017年3月9日(木)夜公演於:渋谷区文化総合センター大和田伝承ホール

上記講習実施曲を含む演奏会

4.今後の中長期的展望

- ① 定期演奏会:現代邦楽「考」への演目の提供
② NHK邦楽技能者育成会の卒業生ではない会員枠の可能性
(講習会への参加回数および会員の推薦による)

合奏団チーム

1.概要および目的

外部からの演奏依頼やNHK放送に際して、より質の高い演奏を提供する。
プロ活動を行う会員の積極的な会への関与を促進する。
育成会の歴史や邦楽界で果たしてきた役割を、育成会にしかできない角度から再考・検証していく。

2.事業計画

- ① プロ的な合奏団を組織・運営する。
② 自主公演事業の企画。
③ 外部からの演奏依頼へ対応する。また、外部からの演奏依頼を積極的に誘致していく。

3.今年度の試行

- ① 合奏団の立ち上げ(体制・人選等)

***人選に関しては会員の皆様のご意見を十分に参考にしながら、慎重に進めたいと考えております。是非積極的なご提言、アイデアをお待ちしております。**

- ② 研修チーム担当事業《現代邦楽「響」演奏会》への協力

*拙速な立ち上げにならないよう、まずは研修チーム主導の演奏会へ協力していく中から課題をあぶり出していく。

4.今後の中長期的展望

NHKとの提携

*過去のNHK委嘱作品、育成会委嘱作品の検証等。NHKに放送して「もらう」のではなく、一緒に番組を作っていくことはできないか。

地方支部

1. 概要および目的

活動の中心がどうしても東京(首都圏)に偏りがちなので、地方在住の方へも会員であることの魅力を感じて頂き、活発な会員活動を促進する。

東京から地方の事業を主導するのは物理的な問題が多いため、地方の事業は地方主導で進められるようにする。

演奏会の実績もあり、会員数も首都圏に次ぐ関西をまずはモデルケースとして担当理事を配置する。

2. 事業計画

- ① 地方会員の親睦と演奏活動の支援。
- ② 未入会卒業生への新規入会促進。

3. 今年度の試行

- ① 育成会同窓会としての演奏活動を進める。京都三曲協会主催の演奏会シリーズにおいて、育成会同窓会として1日確保。

第62回 邦楽を楽しむ会－四季に寄せて「春」－

2017年3月15日(水)19時開演 於:京都府立文化芸術会館三階和室

主催:京都三曲協会／共催:京都府立文化芸術会館指定管理者 創

出演:NHK邦楽技能者育成会有志

演目:1. 朗(杵屋正邦作曲)／2. 風に寄せる三つの前奏曲(長澤勝俊作曲)／3. 花簪(杵屋正邦作曲)

4. 尺八二重奏曲 序破急(唯是震一作曲)／5. 尺八・箏・十七絃のための四重奏曲(藤井凡大作曲)

*NHK邦楽技能者育成会で講師を勤めた先生方の作品から「春」をイメージする曲を取り上げる。

- ② 新規入会の勧誘。まずは知人の中で未入会の卒業生がいれば入会の声掛けを進めていく。

本件について現在までにお問合せいただいているご質問とご答え

○ 同窓会が分割されてしまうのですか？

● そういうわけではありません。あくまでも、今後色々な事業を円滑に進めるために、事業の性格に合わせて理事会を大きくチーム分けするものです。

○ 演奏会は今後どうなるのですか？どのチームで行うのですか？

● 会員の皆様にご出演いただく演奏会は、今後いろいろな形で実施していきます。従来のような形式だけでなく、講習会の成果発表会や合奏団主導で演奏の質を求めるものなど、場合によっては1年に趣旨の異なる演奏会を複数実施することもあります。会員諸兄にはその都度にお知らせしていきますので、是非積極的なご参加をお待ちしております。

○ 演奏会が複数ということは、どれかにしか出られないのですか？

● そういうわけではありません。全ての事業に全会員が積極的に関わって頂きたいと考えております。

○ 「現代邦楽考」シリーズはどうなるのでしょうか？

● 「現代邦楽考」のシリーズタイトルは何らかの形で継続する予定です。(理事会にて検討中)

○ 地方か東京か、どちらかに所属しないといけなくなるのですか？

● そういうわけではありません。あくまで地方の演奏会などを実行する主体が地方支部になるだけで、会員の皆様はどこのどの事業でも是非積極的にご参加下さい。

○ 関西以外の地方はどうなるのですか？支部はないのですか？

● 支部設置の機運がございましたら事務局までお知らせ下さい。地方在住会員の皆様に全国を盛り上げて頂きたいと願っております。

■会計報告

育成会同窓会第4回演奏会(平成28年3月6日開催) 収支決算報告書

収入の部

平成28年 5 月 10 日現在

項目	金額	備考
会費(@10,000×72名)	¥720,000	
楽器レンタル費(@6,000×38名)	¥228,000	
追加販売分	¥315,000	出演者100枚、会員5枚
当日売上	¥16,000	一般4枚
打上げ残額	¥4,000	
NHK放送料	¥756,000	4/20入金済
合計	¥2,039,000	

支出の部

項目	金額	備考
ご祝儀	¥220,000	板倉15、中島3、織田3、藤本1
会場費	¥627,300	
付帯設備使用料	¥120,300	
演奏用イス借用料	¥10,000	正派(20脚×@500円)
弁当	¥84,525	
著作権料	¥64,096	
諸経費	¥11,568	受付交通費(クオカード)・会議費他
琴光堂謝礼	¥450,000	400,000+50,000(諸経費)
印刷費	¥51,080	チラシ・プログラム・チケット他
デザイン料	¥55,000	酒井利政様
案内・招待状	¥103,164	高須真帆
パート譜作成費	¥5,000	気賀沢美香様
通信費(郵送費・切手・FAX等)	¥65,344	
宅配料	¥1,960	
文具費	¥15,653	
コピー代	¥22,560	
文書作成費	¥91,000	パート譜、演奏会関係資料、プログラム他
会議交通費	¥18,000	
振込手数料	¥4,104	
雑費	¥5,179	当日茶菓子、ごみ袋他
合計	¥2,025,833	

収入金額合計	¥2,039,000
支出金額合計	¥2,025,833
差し引き金額	¥13,167

平成27年度 育成会同窓会 収支決算報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

平成28年 5月 24日

収入の部

項目	金額	備考
会費収入	¥1,890,000	630名分／764名(28.3.31現在)
前期繰越金	¥3,232,802	
第4回演奏会繰越金	¥13,167	
預金利息	¥475	
合計	¥5,136,444	

支出の部

項目	金額	備考
総会会場費	¥46,440	
会議費	¥58,600	理事会・評議員会会場費・交通費
会報作成費	¥102,165	会報関係印刷費等
資料・文書作成費	¥193,000	
HP管理費	¥60,000	HP管理費、
通信費	¥83,959	郵送、メール便、葉書、切手等
発送配達費	¥71,655	宅配便
印刷費	¥40,700	
文具費	¥20,110	封筒、ラベル、インク他
コピー代	¥18,200	
交際費	¥4,368	菓子折
雑費	¥20,304	FAX/携帯使用料、振込手数料等
合計	¥719,501	

収入金額合計	¥5,136,444
支出金額合計	¥719,501
差し引き金額	¥4,416,943

収支決算書、預金通帳および関係書類に基づき監査した結果その内容が適正かつ経理事務が正確であることを証明します。

平成 28年 5月23日

監事 森田 柊山

平成 28年度 NHK邦楽技能者育成会同窓会収支予算書

平成 28 年 5月 24日

収入の部

会員数 764名 ・ 3/31現在

項目	金額	備考
会費収入	2, 292, 000	764名 (28年分)
		×@3, 000円 ※3期末納者124名
収入合計	2, 292, 000	

支出の部

項目	金額	備考
事業費	総会	80, 000 会場費
	会報作成費	150, 000 印刷・デザイン等
	会議費	100, 000 理事会、評議員会関係諸経費
	小計	330, 000
管理費	HP管理費	60, 000 年間管理費
	印刷費	200, 000 総会関係資料、会議資料等
	通信費	200, 000 郵送費、切手代
	事務作業費	200, 000 議事録、文書資料等作成費
	文具・消耗品費	30, 000
	人件費	50, 000 発送アルバイト料
	交際費	50, 000 慶弔費、菓子折り等
	雑費	30, 000 FAX、携帯電話、振込み手数料等
	小計	820, 000
支出合計	1, 150, 000	
当期収支	1, 142, 000	
前期繰越	4, 416, 943	
合計	5, 558, 943	

育成会同窓会のための情報連絡サイト NHK邦楽技能者育成会同窓会の広場

<http://hougaku-ikuseikai.com/>

会員の皆様への情報発信を行っています。また会員相互の情報交換の場としてご利用下さい。

NHK邦楽技能者育成会同窓会事務局

住 所 〒130-0026 東京都墨田区両国3-25-9-304 古屋方

FAX 03-6800-2012

TEL 080-3081-6227 ※電話番号が変わりました

会に関してのお問合せ、ご意見など何でもご連絡下さい。各ジャンルの担当につながります。
なるべくメールまたはFAXにてご連絡をお願いいたします。

2016年10月発行